



SCOUT CHIBA

スカウト ちば

平成21年度の目標
広めよう!
スカウティングの
楽しさをみんなに

発行：日本ボーイスカウト千葉県連盟
PR・コミュニケーション委員会
発行責任者：中川 義夫 編集長：上野 孝

〒263-0016 千葉市稲毛区天台6-5-2 千葉県青少年女性会館内
TEL 043-287-1755 FAX 043-287-1786

<http://www.scoutchiba.jp/>

	回数		隊数		団委員		指導者		スカウト		その他		計	
	登録数	前年度末数	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス	指	ス
登録数	119	120	556	563	1,642	1,710	2,441	2,484	5,801	6,072	2	3	9,886	10,269

[加盟登録状況]平成21年2月28日現在

2015年 世界のスカウト3万人が日本に集まる!

～第23回世界スカウトジャンボリーの日本開催が決定!～

千葉県連盟理事長 鈴木 国夫

「第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)日本招致」活動が実を結びました。2015年、世界のスカウト3万人が山口市の「きらら浜」に集まります。

昨年7月韓国で開催された第38回世界スカウト会議(150の国と地域が参加)で、立候補した日本とシンガポールについて投票が行われ、日本での開催が決定しました。

日本のテーマは「和-a Spirit of Unity」



会場予定地を望む

で、平和と調和のためのジャンボリーという考え方が広く共感を得た結果だと思えます。また、多くの方々から支援を受けて、世界中のスカウト連盟と交流を深め支持を集めてきたことも、大きな勝因だったと考えられます。

2015年、日本に集まってくる世界のスカウトたちを迎えるため、ホスト国となる私たちはたくさんの仕事をしなければなりません。日本のスカウト運動がいつその発展をする機会です。世界の仲間とのより良い「和」を築いていきましょう。

主役は、今のビーバー、カブです!ボーイ、ベンチャー、ローバーが支援者です。



会場予定地の一部

第21回世界スカウトジャンボリー(21WSJ)に国際サービスチーム(IST)として奉仕して

千葉第9団 ローバースカウト隊 山田 大介

21WSJで私が目指したこと、それは多くを学ぶことだ。素晴らしい先輩達に囲まれ、一緒に活動するチャンスを生かし、精一杯努力して沢山のことを吸収しようと



21WSJサンライズセレモニーイベントに参加

心掛けた。

英語でコミュニケーションが出来ることは参加するにあたって当然のこと、ほかにも多くの国や地域で使用されている言葉を、挨拶などの簡単なことでも勉強していれば、交流により広がりができるだろう。また、キャンプ技術などでは基本的技能だけでなく日々の改善、状況に応じた行動能力が必要になる。期間中、突然暴風雨に襲われても、自分は何をなすべきか、そして自分だけではなく仲間達の状態も把握し手を貸せる余裕も必要である。しかし、こ



21WSJ開会式の光景

れらはスカウティングを楽しもうとする姿勢があれば大した問題ではない。

会場では仲間のために走った。芝生に寝ころび夕日を眺めた。世界の兄弟達と共に笑った。叱ってくれる先輩がいた。掛け替えのない仲間達に出会えた。最高の仲間。

スカウトたちの国際フォーラム 日韓スカウト交歓計画

平成20年度日韓スカウトフォーラムが平成21年1月10日～12日まで、マロウドインターナショナルホテル成田で開催されました。千葉県連盟からスカウト22人とユーススタッフとして5人のローバースカウトが参加しました。フォーラムでは「より良き理解 明るい世界」をテーマに、日韓260人のスカウトが2日間熱心に議論しました。また、あわせて1月17日～19日の間、36人のスカウトと指導者が千葉県内でホームステイをして交流を深めました。

日韓スカウトフォーラム参加報告

千葉県第21団 ベンチャースカウト隊 山本 大河

「SAVE THE EARTH」日韓スカウトフォーラム最後のグループ発表で、僕達のグループ



は「地球を守れ」という意味の英語でこう命名した。発表の内容は主に5Rについてだった。5RとはRECYCLE、REUSE、REDUCE、REPAIR、REFUSEのことで、これらのRをスカウティングを通して行おうという内容だった。

今回のフォーラムのテーマは「よりよき理解・明るい世界」で、フォーラムの最初に聴いた環境問題に関する基調講演を踏まえて、グループ全員で話し合っていました。

話し合いで最初に僕達がぶつかったのは言葉の壁だった。特に僕のグループは通訳のいないグループだったので、英語だけでコミュ

ニケーションを取らなければならなかった。しかし、文法にこだわらず、ほとんど英単語だけで積極的に発言することで、自分の意思を伝えることが出来た。

僕は、このフォーラムに行くまで韓国との歴史観の違いなどを心配し、不安だったが、実際に彼らと会って話してみると、そんな話題は全く出ないで、日本の漫画やミュージシャンについて盛り上がった。韓国のスカウトはとてもいい人ばかりだった。これからは彼らとメールをしたいと思っているし、日韓交流の中心になりたいと思っている。

日韓スカウトフォーラム～スタッフの気持ち～

千葉県第27団 ローバースカウト隊 櫛原 歩

2009年、私は緊張と焦りと不安な気持ちのまま新年を迎えました。初めてのスカウトフォーラムに「スタッフ」として参加する緊張と、16人のスカウトを一人でまとめる不安はどう頑張っても消えませんでした。

いざ本番。最初は簡単な受付の仕事をした後にスカウトフォーラムの開会式があったり、基調講演で環境の話を聴いたり、何の問題もなく過ごせました。しかし、午後からは交流プログラム①としてバスで10分位した所にある小学校の体育館で、グループごとに自己紹介、大縄跳び、ジェスチャーゲーム、ダンスをしました。私はジェスチャーゲーム担当だったので、企画・運営方法を考えたり、指

導したり…。案の定私の力不足でグタグタになってしまいました。その時、16人×6グループという人数を動かす事はとても疲れることだと思いました。

2日目の交流プログラム②では成田空港のエコ活動に関することを学びました。自由行動のときは、韓国のスカウトと日本のスカウトに交じって話をしました。午後は環境についてディスカッションを行いました。本来ならば私がリードして話を進めるはずが、話の流れを作る進め方やまとめ方が分からず、通訳さんや韓国の、いわばローバーの方に頼るばかり。人の上に立つ大変さや辛さ(つらさ)を痛感(つらかん)しました。また、他のスタッフやリーダー方

に支えられていることも、スカウト達に元気をもたらしたことも身にしみて、今は感謝の気持ちでいっぱいです。

今回は大変勉強になりました。そして皆さん、ありがとうございました。



韓国スカウトホームステイの感想

印西白井第2団 ベンチャースカウト隊 鶴澤 光佑

今回、二人の韓国スカウトが我が家にやって来ました。初めは、上手くコミュニケーションがとれるか?またステイ期間を楽しんでくれるか?などの不安と緊張で上手く喋れなかったけれど、すぐに打ち解ける事が出来ました。

二日目に東大見学や明治神宮に行きました。その中で特に印象に残っている事が帰りの電車の中でありました。疲れきって座っている彼等の前に、荷物を持った一組の夫婦が来ると、すっと席を譲りました。一見当たり前のよ



うな事なのですが、それが出来ない今の日本人からすると、その行為はとてもかっこよく見えました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、別れる時、彼等は泣いていました。それを見て、たった三日で泣ける程仲良くなれる、スカウト同士の友情は熱いものだと思います。

今回の経験は僕にとって一生の財産です。もちろん彼等もそうだと思います。この経験を今後のスカウト活動等に活かしてゆきたいです。我が家に来てくれてありがとう!!

日韓スカウト交歓計画事業とは

日本連盟日韓スカウト交歓計画実行委員 片寄 朗

平成10年金大中韓大統領と小渕恵三総理大臣により署名された共同宣言に基づき、将来の日韓の国民的な友好関係の基礎を強化することを目的に、21世紀を担(に)う両国の中高生同士の相互理解を深めるための交流促進事業としてスタートしました。現在では、第2回東アジアサミットにおいて安倍

晋三総理大臣から提唱された「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として、ボーイスカウト日本連盟が外務省から委託されて実施されています。なお、招聘参加者に限らず、日本スカウトの参加費、交通費は、同委託経費から支出されています。平成20年度は、韓国より153人を日本へ招聘して、

日韓スカウトフォーラムをはじめとして、日本の歴史・文化の研修、ホームステイなどを11日間の日程で行いました。平成10年より現在まで1,000人を超すスカウトを韓国から日本へ招聘して、日本のスカウトと交流の絆を深めています。

アマチュア無線(JOTA)とインターネット(JOTI)でジャンボリーに参加

10月18・19日(土・日)に開催された第51回ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA)、第12回ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)に今年も千葉県青少年女性会館に、アマチュア無線局(JJ1YXI)の開設と10台のパソコンを設置してスカウトに参加する機会を設けました。今回は、参加者全員が、日本語で、スイス ジュネーブ 世界スカウト機構の日本人スタッフおよびアメリカの日系カブスカウトと話しをする事ができました。

この行事は 世界スカウト機構(WOSM)が主催する伝統ある公式国際行事で、スカウトがアマチュア無線とインターネットを利用し、国内各地や外国のスカウト仲間と交流し、お互いを理解し、知識と友情を深めることを目的としています。JOTAは51年目、JOTIは12年目を迎える伝統的な行事です。毎年10月の第三週末に開催し世界中から50万人以上のスカウトが参加しています。個人でもグループでも誰でも参加できます。県連ホームページICT研究会コーナー等で詳細を知ることができます。

参加スカウトの感想

千葉第1団 ボーイスカウト隊 レイル班 次長 小林 明音

私は今日のJOTA・JOTIで初めての体験を2つもさせていただき、とても勉強になりました。

JOTAでは、無線の資格を持っていないがまだ一度も話したことがなかったので、埼玉の飯能のボーイスカウト局と交信したときはとても緊張しました。でもマイクをにぎって話ができただけはととてもうれしかったです。

JOTIでは、チャットなどをして、世界中に仲間がたくさんいることを実感しました。そしてパソコンのカメラを使って映像を見ながら、スイスのジュネーブにいる日連の職員の方と話せたことはとてもビックリしました。世界がつながっていると思いました。

次回のJOTAの時には、無線で慣れた口調で話したりして楽しみたいです。



八街第1団 ボーイスカウト隊 ブラックバード班 次長 鶴重 誠

僕は、アマチュア無線の免許を取って初めて交信することができたので、とてもいい経験になりました。交信相手は埼玉の団で僕たちの班よりも交信できる人が多くて、驚きました。JOTIのほうも、アメリカの太龍君とチャットをしたり、スイスの人とインターネット電話をしたり、いろいろな場所の人と会話ができる貴重な時間でした。来年に班の人にも免許を取ってもらいみんなで楽しく参加したいです。

千葉第1団 ボーイスカウト隊 バッファロー班 石橋 佑太

ぼくは、JOTA・JOTIは二回目ですが直接スイスの人やアメリカの人と話することができて、すごいと思いました。なかでもスイスの人と話するときテレビ電話ができてびっくりしました。また次のJOTA・JOTIにも参加しているいろいろな国の人としゃべってみたいです。

千葉第1団 ボーイスカウト隊 ワシ班 波江野 隼

10月9日青少年女性会館で、JOTA・JOTIに参加しました。JOTIでは他の国にいる人と会話やチャットができました。他の国の人たちとテレビカメラを使ってリアルタイムで、会話できるのもすごかったです。また、地球の反対側に居るヨーロッパの人とも会話しました。生まれ初めての体験ですごかったです。

船橋第14団 ボーイスカウト隊 トナカイ班 坂内 開

インターネットでアメリカとスイスの人と交流できてよかった。パソコンの書き込みはむずかしかった。モールス信号で紙に書いてない「3」をおぼえた。SOSがおぼえられてよかった。



わが地区自慢のキャンプ場紹介

八千代第5団 カブ隊副長 尾崎 洋

豊かな木々に囲まれた「勝田の森」キャンプ場

我々のキャンプ場は、元指導者の地主さんがスカウトのために貸し出してくれている、緑豊かな木々に囲まれた、正に「森」というべき空間です。

八千代第5団は発団以来27年間、その「森」をベースに様々なスカウト活動を展開しています。「森」の木々は、四季折々の姿でスカウトたちに語り掛けているような気がします。

秋になると、「森」は、一面が落ち葉で敷き詰められます。

降り積もった落ち葉を集めて、ピーパー隊が自分たちで育てたさつま芋の焼き芋を作って頬張ります。

冬、すっかり葉の落ちた木にスクリーンを張って、カブ隊がクリスマス会恒例の影絵を披露します。ボーイ隊はその夜、耐寒キャン

プをしますが、街の喧騒などまるで聞こえない、月明かりも射さない漆黒の「森」は、凛とした空気です。スカウトたちを包み込みます。

新緑の頃、「森」は精気に満ち溢れ、スカウトたちの元気な声が響き渡ります。

「森」は、夏の射すような日差しもその生い茂った葉で和らげてくれます。

2年前には、カブ隊が「森」の木の名前を調べて自分の好きな木に手作りの名札を付けました。名札にはそのときに測った幹の太さが書いてあります。彼らの成長と共に幹も太くなって行くことでしょう。

シンボルマークの5本の木は、この森で育っていくスカウトたちの姿を示しているのです。これからも、「森」の木々がスカウトたちを見守ってくれることを願います。



キャンプ場問合わせ

八千代第5団団委員長 (飯牟禮)



第17回 千葉県カブラリー

楽しかったカブラリー!



千葉県連盟ホームページ上に、たくさんの第17回千葉県カブラリーの写真が掲載されております、こちらもご覧ください。
<http://www.scoutchiba.jp/>

第10回 日本アグーナリー

兵庫県神戸市しあわせの村
平成20年7月31～8月4日



第10回日本アグーナリーに参加して

大網白里第1団 ベンチャースカウト隊(当時) 花野 紘彰

ほくは、2008年の7月31日から8月4日まで、神戸市にある「しあわせの村」で行われた第10回日本アグーナリーに奉仕で参加しました。まずは所属団のホームページに送った携帯メールから、「みなさん、こんちわあ。パン作りでは、めっちゃ緊張した花野隊付で～す。それは秋篠宮さまがアグーナリーに来られて、その時にパン作りをなさったからです。目の前で見て、そして直接話しましたが、めっちゃ、カッコいい方でした！一生の思い出に残るもののひとつになりました。」

さて、ほくがこの大会の事を知ったのは10年前です。カブの時、障害って何？障害者ってどんな人たちという疑問をもっていました。

その疑問ゆえにこの大会に奉仕隊として参加したのです。ほくの事は場内専用プログラムで、「パンを焼こう」というコーナー。パン作りは初めてで、実際に参加スカウトに教える場面では、初めのうち、どんな感じで接すればいいのかわかりませんでした。

そこで、まずは自己紹介をして、お互いの事を知ろうと提案し、実際にやってみたところ、お互いの緊張がとれ、最後まで楽しく作ることができました。何よりできた！と言って、すごく喜びながら笑顔で言ってきたのがとても印象的でした。

今回、障害者の方々と初めて交流しましたが、キャンプをほく達以上に楽しんでいると

思いました。今回の経験で、自分の夢である特別支援学校の先生に少し近づく事ができたと思います。今後もアグーナリーやジャンボリーで、裏方として頑張るつもりです。



「パンを焼こう」コーナーで奉仕中の花野紘彰君(右)

*一部の写真は、ボーイスカウト兵庫連盟ホームページより引用させていただきました。

ゲット!! 富士章・千葉県連盟準章・菊スカウト章 取得スカウト

平成20年8月22日～平成21年2月20日

富士章	菊スカウト章	菊スカウト章	菊スカウト章
米本 慶治 市原 7団	中澤 雄介 船橋 7団	川副 有香 柏 1団	星野 浩大 松戸 10団
	菅原 一樹 千葉 14団	遠藤 慎也 柏 1団	高橋 尚也 松戸 10団
	笹木 将岳 千葉 14団	武田英香里 柏 1団	藤原健一郎 君津 2団
	野村 崇明 千葉 21団	宇都宮紗紀 柏 1団	福島 郁 松戸 1団
	小関 紘矢 千葉 21団	大原 都 香取 2団	内山 貴裕 松戸 1団
	大倉 成 柏 1団	田村 樹里 銚子 2団	福島 郁 松戸 1団
	山岸 右京 柏 1団	橋本由美子 松戸 10団	内山 貴裕 松戸 1団
千葉県連盟準章			
土屋 泰洋 八千代 3団			
山口 拓郎 松戸 6団			
杉森 峻 松戸 6団			

富士章を取得して

上総地区市原第7団 ローバースカウト隊 米本慶治

富士章取得はボーイスカウト時代からの大きな目標でした。ベンチャースカウト活動の締めくくりとして、また自団の発団30周年、という節目の年に富士章を取得できたことは、非常にうれしく思います。

プロジェクトは自分の知らない分野への挑戦であり充実感と達成感がありました。しかしどの場面でもわからないことばかり

であり、最後まで時間に追われるような状態でした。

無事に取得できたのはさまざまなバックアップがあつてのことだと思っています。

今後はローバースカウトとして指導者に近い活動になってきます。自身の反省をふまえて後輩の活動のバックアップができるようになりたいと思います。



はっけん伝 麻賀多十八社

今年の正月三が日、神社仏閣参拝者が軒並み記録更新したとの報道がありました。印旛地区には、全国第2位の参拝者を擁する成田山新勝寺の他にもこの地区特有の神社が奉

られています。それは「麻賀多」と名がつく神社で、他地区には存在せず、印旛沼南部にだけ(成田・酒々井・富里・佐倉・八千代の十八社)奉られた印旛特有の神社です。

縁起については、今から1700年ほど前の応神天皇の時代、印旛国の初代国造に任命された伊都許利命(いつこりのみこと)の夢の中で、「杉の木の下に玉有り。掘り出して稚産霊命(わかむすびのみこと)を祭れ」とのお告げがあり、その七つの玉を掘り

出して御鏡と共に御霊代として併せ祭り、麻賀多真大神(まかたのおおみかみ)と称し奉られ、下つて後、延喜18年(918)、麻賀多神社に改名されたとのことです。

私たちの周辺には、名も知られていない社やその地方特有の神社仏閣が沢山あるものと思います。活動の際に、学校の行き帰りに、少し興味を持って参拝されれば新たな発見があることと思います。

印旛地区コミッションナー 大川 正芳

第7回 ベンチャースカウト大会準備速報

7NV実行特別委員長 荻野 茂



平成21年8月の1ヵ月を「ベンチャー月間」として北海道から宮崎まで全国26基地で53のプログラムが実施されます。千葉県連盟7

NVのコンセプトは利根川・江戸川に囲まれた水と緑の環境下「ウォーター」です。江戸時代から利根川・江戸川を介して直結された河川交通は物資を大量に安価で輸送できる手段として各種の川船がハイウェーさながら河川を往来しました。この光景をほうふつする2つのプログラムを8月12日～8月18日の期間に3つの基地で前半・後半を組合せて6泊7日で実施します。

「ザ・ウォーターチャレンジ」イカダと船舶免許(江戸川基地→手賀沼基地)

「ザ・ウォータークルーズ」船舶免許とカ

ヌー(手賀沼基地→小見川基地)・両プログラム共通の小型船舶免許取得は手賀の丘少年自然の家をベースとした手賀沼基地で挑戦。江戸川基地では自作でイカダを作り矢切の渡し柴又までの江戸川下りを行ないます。

小見川基地では基地前を流れる黒部川の10kmリバーツーリングを行います。

*期間中に奉仕可能(2・3日でも)な指導者を広く募集しています。ご連絡をお待



手賀沼基地で船舶免許にチャレンジ

ちします。詳しい情報は千葉県連盟HPの日本ベンチャー2009から各基地HPを参照して下さい。



江戸川でイカダ下り(江戸川基地)

県内各地区の隊活動便り

ビーバーラリーは運動会

千葉県 実行委員長 楠 拓也

10月26日(日)、青葉の森公園で、千葉県ビーバーラリーが行われました。これは地区のビーバースカウトが一同に集まる、今年で12回目を数える恒例のイベントです。

ビーバースカウトの参加は63人。一般の子どもたちの参加は13人。そのほかに多くのカブやボーイのスカウトも参加しました。今にもひと雨きそうな天気でしたが、元気なスカウトたちの声のおかげで、なんとか雨はふらずに進めることができました。

今年のビーバーラリーは運動会です。初めに組分けゲームを行い、赤・青・黄・白の4チームにわかれて点数を競います。種目は、二匹のビーバーのサカナつり、ダンボールキャタピラー、そしてピンポンリレーの3種目です。

最後のピンポンリレーは、ピンポン玉をリングに乗せてリレーをするのですが、勢いよく走ってしまうとピンポン玉がポロリ!なので、スカウトたちはピンポン玉を落とさずにすむ、ちょうどいい速さで走らなければなりません。

まさに抜きつ抜かれつの大接戦となったこのレース、参加者全員が身を乗り出して大声援を送りました。最終的に順位はつきましたが、全員に一等賞をプレゼントしたい、そんな楽しい一日となりました。



よい1年になりますように

市川・浦安地区 浦安第2団 カブスカウト隊長 木村 潔

1月25日(日)、毎年恒例の七福神めぐり初詣ハイキングを行いました。今年は、浅草・向島の隅田川七福神。

総勢35人のスカウトと指導者が浅草寺から、各組ごとにハイキングを開始。三囲神社から最後の多聞寺まで約6.2キロ。浅草駅まで戻るので、ざっと7キロの行程です。



今年は年少のうさぎスカウトが多いので、不安がありましたが、順調に各ポイントを通過。途中の向島百花園で、しばしの休憩と庭園観賞。

待ちに待った昼食タイムには、白髭神社様のご好意で、

みんなが持ち寄ったたくさんの野菜を煮込んだカブ鍋をボーイ隊が作って待っていてくれました。寒い季節のカブ鍋は最高です!スカウト達は大喜びで食べていました。

昼休みも程ほどに、今回最長の1.8キロ最終ポイントに向かってスタート。

さすがに疲れてきましたが、何とかゴール!全員、全力所のスタンプを朱印帳に押すことができ満足そうでした。年少スカウトもよく歩き、年長スカウトもよく面倒見てくれました。

頑張ったね。今年も一年良い年になりますように。



B-P祭「ブラウンシー島体験キャンプ」

八千代・習志野地区 八千代第3団 ボーイスカウト隊

今年のB-P祭は、ベンチャー隊の先輩たちが、いろいろな工作物を作ってくれたので、すごくよかったです。ですが、後輩たちは仕事がひとつ終わることに遊んでいるところもありました。でも、それ以外はすごくいいと思います。そして、B-P祭で作った椅子とテーブルが一つになっているやつがすごく気に入ったので今度班集会でも作ってみたいと思います。タイガー班 班長 山口 泰史

今年のB-P祭では、門、かまどなどいろいろなものを作りました。いつもキャンプで食卓を作る時は、杭を打ってベニヤ板をのせてイスを置いて終わりですが、今回のテーマが「ブラウンシー島へ行こう」だったこともあり、竹を使って四角食卓という物を作りました。材料選びや構成を考えていると、どんどん時間が過ぎていってしまいました。ですが、とても座り心地がよく、高さもちょうど良く、とてもよい四角食卓をつくれました。タイガー班 次長 矢木 里実

今回のB-P祭で、私は他の班長、次長と四角テーブル作りを行いました。その後各班に別れて、ビーバースカウトのティーピーテント作りをしました。私がロープ結びを教えているとみんなもマネして結んでくれるのでとても嬉しかったです。そして最後にスカウト全員で、竹筒ご飯で使う竹筒を作りました。竹筒を作り終えてみんなで竹筒ご飯を食べました。私がB-P祭を終えてよかったと思うところは、みんなが笑顔で楽しく遊べたことだと思います。イーグル班 班長 速水 佑介



第5回 軽度発達障害勉強会 報告

千葉県連盟 健康安全委員長 南 正晃

平成20年10月25日(日)船橋市役所11階「大会議室」にて、船橋市教育委員会の後援を得て、「第5回軽度発達障害勉強会」が、ボーイスカウト関係者122人(県外2人)、一般22人、奉仕者数21人、合計165人の参加者のもと行われました。

午前中は、ボーイスカウト千葉県連盟医師の会、肥田クリニック院長・肥田裕久先生より、医学的視点から実際の具体的な事例及び症状例より分りやすくお話をいただきました。特に発達障害に対する根本療法は無く対症療法しかないこと。また、ここで指導者として、先輩としての支援が大事であること、などのご指摘は、印象的で、そのために大事なことは、コミュニケーションである。

指導する場合は、第1段階「見つめあう」第2段階「一緒に同じものを見つめる」第3段階「考えたことを話し合う」のプロセスが大事なことである。



これは、我々リーダーがスカウトに接するときにも大切なことである、とのご指摘がありました。また支援者は、「自主性を育てること」、「自分で決めること」、「個人によ

て時間差があること」を認識しておくことが大事である、とのご説明も大変勉強になりました。

午後からは、心理療法士の越森誠氏(市川2団ボーイ隊長)より、心理学の立場から、ボーイスカウトのリーダーとしての両方の立場から、具体的な現象とその支援法を教示いただきました。

「心地良さ」を与えると子供たちは乗ってくる。子供たちに選択権を与えることにより、選択がうれしくなる。こどもやスカウトへの関わり方の視点として、「秘密の厳守・安全の確保・傾聴と受容」が大事であり、長所を探し、認めてあげ、その瞬間に「ほめる」ことが大切である。その子が過ごしやすい(生きているのが楽しい)環境を作つてあげることが基本である、などのお話をいただきました。最後に、経験を多くするために「いろいろな勉強会に出てください」の言葉をいただきました。



肥田クリニック院長肥田裕久先生(左)と心理療法士の越森誠氏(市川2団ボーイ隊長)(中央)

新 地区だより

市川・浦安地区

市川・浦安地区は、江戸川を境に東京都と接している。

かつて市川市には永井荷風と幸田露伴が、浦安市には山本周五郎が居住し、文学的な雰囲気のあるエリアだ。

市川市は歴史的建造物の残る古い町であり、浦安市は東京ディズニーリゾート開発や京葉線開通によって発展してきた若い街である。いずれも都内に勤めるサラリーマンのベットタウンであり、転入や転出も多く、ある日突然指導者が転勤でいなくなってしまうことも少なくない。

市川市には6個団、浦安市には2個団、計8個団がある。エリアはそれほど大き



青へか物語の船宿(浦安市)

くなく、団数も少ないため、地区委員会には各団の団委員長が、ラウンドテーブルには各団の指導者が出席し、地区としてのまとまりは悪くない。

独自の取り組みとして、私立市川学園に、学園内でスカウト活動を展開するための働きかけを県連盟と協力して継続しており、昨年9月の学園祭では、モデルサイトの展示とロープ結び等の指導を行った。

また、ビーバースカウト部門では国道357号沿いの道路建設予定地での菜の花の種まき、カブスカウト部門では地区全隊参加の大集会、ボーイスカウト部門では地区一泊ラリー、ベンチャースカウト部門では地区全体での技能章取得を目指したキャンプの開催など、地区としての活動も積極的に展開している。

今後も地区の青少年がスカウティングの素晴らしさを体感できるように、各団・各隊と協力し地区として支援していく。



ビーバースカウトによる菜の花の種まき

編集後記

3万人もの世界のスカウトたちが集う、山口県「きらら浜」とは、どんな所?と想いを膨らましておりましたが、きれいな航空写真が届きました。スカウトたちも目を見張ることと思います。

4~5頁は前号で割愛された、第17回カブラリーと第10回日本アグーナリーのアルバムを掲載いたしました。17CRIは「楽しかったカブラリー」とし、記念品の下敷きに載せられなかった写真から選びました。また、アグーナリーの5日間の熱気や感動がほうふつされる写真は、ボーイスカウト兵庫連盟のホームページから一部の写真を引用させていただきました。御礼とともに感謝申し上げます。

編集長 上野 孝

	団数	隊数	団委員	指導者	スカウト	計
登録数	8	39	129	194	487	810

〔加盟登録状況〕平成21年2月28日現在